

## 令和5年度 第1回 葵西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月19日（金） 午後1時58分から午後3時43分まで
- 2 開催場所 葵西小学校 2階 会議室
- 3 出席委員 長谷川 良樹、古山 照美、辻岡 和代、石井 朋子、松尾 真由美
- 4 欠席委員 村井 レティシア
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（北部協働センター 所長）
- 6 学 校 水野 希樹（校長）、古橋 智一（教頭）、寺田 善一（教務主任）  
廣瀬 高志（生徒指導主任）、中村 成一（CS担当）、  
工藤 敬子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 工藤 敬子

### 10 副会長の指名

長谷川会長の指名で、古山委員が前年度に引き続き選任された。

### 11 議長の選出

前回推挙された石井委員が本日の議長を務めることを了承し、全員異議なくこれを承認した。

### 12 協議事項

- （1）葵西小学校運営の基本方針について
- （2）葵西小の子供たちの様子について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

### 13 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）葵西小学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 昨年度話し合った内容が、具体的に反映されて、分かりやすい。この方針や、経営の柱となる安心安全への取り組みを保護者や子供たちに伝える方法について、コミュニティ・スクールの場合や保護者で考えられると良い。安心安全は、みんなで作った物だと気付くことで、地域への感謝の気持ちを育てるきっかけにもなる。安心安全を構築していくために、何か活動を考えられると良い。（辻岡委員）
- ・ グランドデザイン、表現の仕方も分かりやすく変わっていて良い。（古山委員）
- ・ 働き方改革について。先生方の負担を単純に減らすだけでなく、個々の事例の必要性を確認して軽減していることに感謝する。その温かさを持った対応が、葵西小の明るさや子供たちの素直さにつながっていると感じる。（辻岡委員）
- ・ 給食の食べ方は、コロナ禍からどう変化したか。黙食解除の対応が早く行われた

印象がある。(松尾委員)

→ コロナ感染の懸念が解消していないので前を向いて食べている。授業での話し合いの場面と違い、給食の場面では感染予防のために慎重に対応している。(校長協議の結果、全員意義なくこれを承認した。)

## (2) 葵西小の子供たちの様子について

議長の指示により、生徒指導主任から学校での子供たちの様子について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 児童の欠席について。出席停止とはどういう理由のものか。(長谷川委員)
- ・ 不登校の子の割合はどうか。不登校の子に対して、先生方がいろいろな道を模索して対応していると感じる。(松尾委員)
  - 全国の数値に比べて、本校はそんなに高くない。(生徒指導主任)
- ・ 子供から聞く話から、学校が居場所であると考えているのが分かる。そのような考え方が数値の低さに反映されていると考えられる。今学校へ来られない子には、いろんな理由があると思われるが、まず、学校を居場所と認識してもらうことが良いと思う。居場所としての学校の環境作りがとても大事だと思う。(辻岡委員)
- ・ いじめについては。子供たちのコミュニケーションの取り方の問題からいじめに発展することもあるし、受け取る側がいじめだと思えばいじめと認定されることもある。また、子供たちの間で、誤解や口論が「いじめ」と感じられることもあるかもしれない。そのため、大人たちは適切なルールを教える必要があると思う。人間社会はいじめがなくなるものではないと言われている。もし家庭で、親が他の家族について軽く話しても、子供がしっかりインプットしてしまうので、親が気を付けなければいけない、ということに大人が気付いて欲しい。子供だけのいじめ対策ではなく、大人がまず気付くことが大事ではないか。(古山委員)
- ・ 4月になって、子供たちがマスクを外し、やっと顔を向けてくれるようになった。午後地域を歩きながら挨拶をすると、外国人の子は3人に1人くらいしか挨拶を返してくれない印象。目線も合わせない子供もいる。外国人の子供たちは学校で話しているのか、仲間から外れていないのか、言葉が分からないのか、居場所があるのか、それとも知らない人には挨拶を返さないだけなのか。(長谷川委員)
- ・ 放課後児童会へ行くと、みんなちゃんとしゃべってくれる。コミュニケーションがとれるように育っているし、居場所があるから通っていると感じる。(松尾委員)
- ・ 子供の様子を見ていても、日本人と外国人を分け隔てておらず、普通に接していて壁などない感じがする。子供たちはコミュニケーションや多様性への対応が進んでいる。(辻岡委員)
- ・ 知らない人に挨拶を返さないのは、いい意味で防犯意識も危機意識があるのではないか。(辻岡委員)
- ・ 昼間、男の方が、道を歩いていることが少ない。その子にとっては不審者と認識しているかもしれない。(古山委員)
- ・ 知らない人でも向こうから挨拶してくる地区もある。大人も子供に対して挨拶を

返すことで関係性が築けて安心できることはある。(長谷川委員)

- ・ 声を出すことによって、不審者が逆に行動しにくいこともある。(古山委員)  
→ 挨拶を続けることで子供は変わる。ランドデザインでは「目を見て明るく元気に」から「互いの心が通い合うあいさつ」と表現を改めた。目が合うだけで心が通い合う、少しの変化も見逃さずに、子供たちを見ていきたい(校長)
- 協議の結果、子供たちの実態や目指す姿が共有された。

### (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 「自分の夢について表現する方法を持つ方を講師として招き講座を開催する」とあるが講師は地域から探すのか。起業した卒業生等身近な人の方がいいと思う。地元で職人をしている人は結構いる。写真や動画ではなく直接見て欲しい。(長谷川委員)
- ・ 子供たちから、どんな人に話を聞きたいかといった希望はないのか。(松尾委員)  
→ 去年の6年生は、市内の起業家や職人の方々を招いて話を聞き、花屋や左官の方を招いて体験学習を行った。子供たちの希望に関しては、1学期の総合的な学習の時間で自分の将来の職業を大まかに取り上げ、関連する分野についての講話を取り入れられるよう配慮した。毎年、6年担任が手配している。こういう場で講師の情報をいただければありがたい。(生徒指導主任)
- ・ 3年目のコミュニティ・スクールとして、何か取り組めることはないか。新しいことではなく、すでに決まっている教育活動の中の一部の手伝いでもいいので、学校として、何か希望することはないのか。(古山委員)  
→ コミュニティ・スクールの進め方をこの会で取り上げて話していけるといい。この会での話し合いが、学校の発展の始まりとなる可能性があると感じている。講師について、例えば、地区の人材リストの整備や学校のニーズに応じた人材の紹介等の動きがあればありがたい。ただし、学校の負担が増えることは避けるべきであり、バランスをとりながら進める必要がある。やりたいと思ってくださるそれぞれの主体性がかみ合っていくことが重要だと考えている。(校長)
- ・ 地区での挨拶の件。他の地区のように、役員が順番で挨拶を行えないか。具体的には、PTAと子供会の役員の中に「あいさつ部」を設けてはどうか。中学では卒業生が挨拶をしていることで、保護者との交流を深めることができている。(長谷川委員)
- ・ やりたいという方々のそれぞれの主体性がかみあっていないといけない。上の人たちが言ってるからでは、主体性がない。(松尾委員)
- ・ 役員と同等の扱いを受けようとしたら、毎朝挨拶をやりたいという意向を持った保護者もいる。役員になる意欲がある人々を集めて、1年間ではなく半年間や3分の1の期間でも活動始めてみてはどうか(長谷川委員)
- ・ アンケートを取るなどして、主体性を持った人々、自発的に参加する人々を見つけ出す方法を模索してみたい。(松尾委員)
- ・ 見守り隊のメンバーも高齢者である。現役の保護者と子供たちが接する意義は大き

い。参加することでお互いの顔が見えてくる。(長谷川委員)  
協議の結果、夢育やらまいか事業に対する意見書が承認された。

協議中、敷地内に動物のふんが散乱して困っていることが話題になった。地域で犬の放し飼いはあまり見ないため野良猫の可能性があること、自治会は回覧版で野良猫への餌やりを制限していること、砂場を保護するため夜間にブルーシートをかけて対策している学校もある、などの情報が共有された。

#### その他報告連絡事項等

- ・ 北部協働センターの所長から、北部ジュニア公民館、地域学校協働活動ボランティア講座について説明があった。
- ・ 司会の教頭から、次回以降の開催日程について連絡があった。
  - 第2回 令和5年 7月 7日(金) 14:00~16:00
  - 第3回 令和5年10月 5日(木) 14:00~16:00
  - 第4回 令和6年 2月20日(火) 14:00~16:00
- ・ 司会の教頭から次回話し合いたいテーマについて委員に意見を募り、学校のきまりについて話題にすることが了承された。
- ・ 次回議長について、石井委員から、古山委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく、古山委員をお願いすることが決まった。